

## 高濃度酸素マスク

再使用禁止

### 【警告】

#### 〈使用方法〉

- 1) 使用中は患者の状態を監視すること [低流量では患者が呼吸を再呼吸し吸入酸素濃度が低下することがあるため]。

### 【禁忌・禁止】

#### 再使用禁止

#### 〈適用対象 (患者)〉

- 1) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者 [高濃度の酸素投与で、CO<sub>2</sub>ナルコーシスを引き起こすおそれがあるため]。

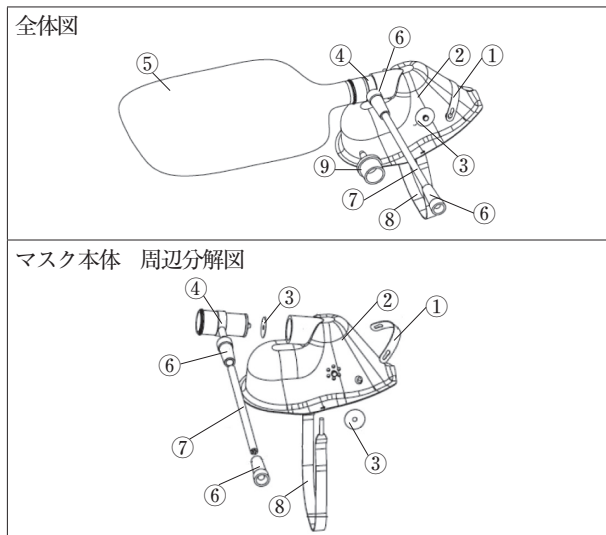
#### 〈使用方法〉

- 1) 本品を高温、裸火又は他の発火源の近くで使用しないこと [酸素は支燃ガスであるため]。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 〈形状・構造〉

001123 高濃度酸素マスク 成人用



#### 〈原理〉

本品は、付属するリザーババッグ及び一方弁の着脱によって、高濃度タイプ (非再呼吸)、中高濃度タイプ (部分再呼吸) 及び中濃度タイプとして使用することができる。

高濃度タイプ (非再呼吸) は、リザーババッグ及びマスクに一方弁を取り付けることで、呼気中のCO<sub>2</sub>がリザーババッグに流入することなく、主にリザーババッグから吸気することで高濃度の酸素を供給することができる。

中高濃度タイプ (部分再呼吸) は、一方弁を取り外すことで、呼気中のCO<sub>2</sub>の一部がリザーババッグに流入してバッグ内の酸素と混合したものを吸気することで、中高濃度の酸素を供給することができる。

中濃度タイプは、リザーババッグを取り外して酸素チューブをつなぐことで、中濃度の酸素を供給することができる。

#### 〈酸素流量及び吸入酸素濃度の目安〉

酸素流量 (L/分)	吸入酸素濃度		
	中濃度タイプ	中高濃度タイプ (部分再呼吸)	高濃度タイプ (非再呼吸)
組み合わせ	リザーババッグなし	リザーババッグ付	
		一方弁なし	一方弁付
	酸素チューブ用アダプタ	バッグコネクタ	
5~6	約40%		
6~7	約50%	約40%	約60%
7~8	約60%	約50%	約70%
8~10		約70%	約80%
10~12		約90%	約90%

**注意** 吸入酸素濃度は患者の呼吸の仕方により大きく変化します。上記の表は通常呼吸時の理論値であくまでも目安です。

#### 〈構成部品〉

No.	名 称
①	ノーズクリップ
②	マスク本体
③	一方弁
④	バッグコネクタ
⑤	リザーババッグ
⑥	酸素チューブコネクタ
⑦	酸素チューブ
⑧	ヘッドストラップ
⑨	酸素チューブ用アダプタ

#### 〈原材料〉

名 称	原 材 料
マスク本体	ポリ塩化ビニル
ヘッドストラップ	アクリル/ポリウレタン

・未滅菌

### 【使用目的又は効果】

#### 〈使用目的〉

気道に酸素ガス等を供給するために用いる。

### 【使用方法等】

#### 〈高濃度タイプ (非再呼吸式) として使用する場合〉

- ・同梱されている酸素チューブ用アダプタを取り除いてください (高濃度タイプとして使用する場合には酸素チューブ用アダプタは不要です)。
- ・リザーババッグのバッグコネクタに一方弁を付け、又マスク本体の側面左右の片方にも一方弁を付けて使用してください (出荷時には、あらかじめ各一方弁は取り付けられています)。
- ・この方法で、呼気のCO<sub>2</sub>がリザーババッグに再び流入することはありません
- ・あらかじめ、酸素を流しながらリザーババッグを手で広げておくと、酸素がリザーババッグに流入しやすくなります。

#### 〈中高濃度タイプ (部分再呼吸式) として使用する場合〉

- ・すべての一方弁を取り外して使用します。こうすることで、呼気CO<sub>2</sub>の一部はリザーババッグに流入し酸素と混合され、再び吸入されます
- ・あらかじめ、酸素を流しながらリザーババッグを手で広げておくと、酸素がリザーババッグに流入しやすくなります。

#### 〈中濃度酸素タイプとして使用する場合〉

マスク本体からリザーババッグとバッグコネクタを取り外し、マスク本体の側面にある一方弁も取り外してください。酸素チューブ用アダプタをマスク本体に取り付け、酸素チューブに接続してください

1. マスク本体を患者の鼻と口を覆うようにあててください。
2. ヘッドストラップを患者の頭にまわし、適切な長さに調節してください。マスク本体の鼻の部分とノーズクリップを患者の鼻に合わせてあててください。  
ヘッドストラップを耳の下から首に回すとマスク本体を顔に合わせ易く、患者の不快感を軽減できます。
3. マスク本体の両側の孔が患者の頬と密着しないよう注意して、患者の顔にあててください。
4. 加湿器等、酸素供給源に酸素チューブを接続してください。
5. 医師の指示に従って100%酸素を規定流量値（L/分）に設定して、酸素を流してください。

#### 【使用上の注意】

##### 〈重要な基本的注意〉

- 1) 使用前及び使用中は、どの部分にもリークや閉塞、よじれ及びキンクがないこと、異物が付着していないこと、適切な酸素流量が投与されていること、本品と酸素供給源との接続が確実であることを絶えず確認すること。
- 2) 中濃度（約50%）以上の長時間酸素投与は行わないこと [肺酸素中毒を引き起こすことがあるため]。
- 3) リザーババッグを使用する場合は、使用前にリザーババッグに酸素を流入し、膨らませてから本品を使用すること。
- 4) リザーババッグが折れたり、ねじれたりしないように注意すること。
- 5) 患者の顔に取り付けた本品に過剰な圧力を加えないこと [顔面神経及び視神経損傷又は皮膚が壊死するおそれがあるため]。

##### 〈不具合・有害事象〉

本品の使用に際し、以下のような不具合が発生する可能性がある。

- 1) その他の不具合

\* ・酸素チューブコネクタの外れ

\* ・一方弁の外れ、ズレ

##### 〈その他の注意〉

- 1) 本品は、絶対に洗浄、滅菌、再使用しないこと [交差感染の原因となったり、滅菌や洗浄剤溶液によって有害物質が残留するおそれがあるため]。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 〈保管方法〉

本品を保管するときは次の事項に注意すること。

- ・水濡れ、高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
- ・保管時（運搬時も含む）は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

##### 〈有効期間〉

- ・本品の包装に記載されている「有効期間」までに使用すること [自己認証（当社データ）による]。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\* \* 〈製造販売業者〉

## smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<https://www.smiths-medical.com/ja-jp>

\* 〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

\* \* 〈製造業者〉

スミス メディカル ASD, Inc.

Smiths Medical ASD, Inc.

\* \* 〈国名〉

アメリカ合衆国